

# ふくせんレポート

 2021  
 5/14

第7号

1面	令和3年度のスタートに寄せて 理事長挨拶
2面	ユーチューブ「ふくせんチャンネル」開設／第2回福祉用具専門相談員研究大会オンライン併用開催決定
3面	令和2年度全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議
4・5面	ブロック活動報告
6・7面	住宅改修事例「ユニットバスの交換工事／柔らかな床材や暖房機 設置で安全・快適な入浴を」
8面	衆議院予算委員会第二分科会で福祉用具関連の質疑

※連載「知識PLUS」は休載させていただきます。

## 令和3年度のスタートに寄せて——理事長挨拶 継続している問題にも新たな課題 にも共に立ち向かう一年に

令和3年度は、2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症及び感染拡大防止策に追われる中でスタートとなりました。新年度にあたり、本会若元理事長より、皆様にご挨拶申し上げます。



岩元 文雄 氏  
 (いわもと ふみお)  
 本会理事長

一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会理事長の岩元でございます。正会員・FJC会員・賛助会員並びに理事、役員の皆様には、平素より、当協会の活動にご協力、ご支援を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

### ■令和2年度を振り返って

令和2年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年であったことは言わずもがなだと思います。政府から発出された「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」による感染症拡大防止の観点から、福祉用具に関連する多くの

イベントが延期・中止を余儀なくされました。当会の活動も、計画していた様々な研修やイベントを見送らざるを得ない状況となりました。このような状況下におきましても、介護保険サービス事業者は休業要請の対象外と位置付けられました。

社会的責務のもと、会員の皆様におかれましては、ご利用者との接触機会をできる限り抑えつつ、日常生活の支援を継続できる福祉用具の活用を活かし、事業継続への取組にご尽力されたことと思います。下期に入りますと、「WITTH・コロナ」のスローガンのもと、オンラインの活用が定着し、当会も新しい形での研修会の開催等が実施できる体制が整ってまいりました。

令和3年度におきましては、引き続きオンライン活用による研修会等の定着と合わせて、集合による対面だからこそ効果や効能が見込める、従来の招集形式の研修会開催にも取

り組んでいく必要性を感じております。来月の6月21日に開催します第2回福祉用具専門相談員研究大会は、まさにこの取り組みを具現化したものと言えます。招集とオンラインの併用開催を決定しました。新型コロナウイルス感染症に影響を受けずに、多くの皆様に参加できる体制づくりに向けて、実行委員会が準備を進めてきています。ぜひ、参加してください。

### ■令和3年度介護報酬改定と今後の課題

令和2年3月より計22回にわたって重ねられた改定議論に基づき、基本的な考え方と、それを踏まえた改定内容が取りまとめられました。第1の柱として位置付けられた「感染症や災害への対応力強化」では、全サービスを対象に必要な介護サービスが継続的に提供できる体制構築を図るため、業務継続に向けた計画(BCCP: Business Continuity Plan)の策定等が義務付けられました。3年の経過措置期間が設けられておりますが、所属される事業所において対応をお願いします。第2の柱、「地域包括ケアシステムの推進」では、認知症に係る取組の情報公表の推進への対応や、退院・退所時のカンファレンスにおける福祉用具専